３　道徳の時間（道徳科）と他の教育活動との関連

＜場の内容・ねらい＞

学級活動（４月）
「中学生になって」
・中学生になった自分に向けての手紙を書くことを通して、中学校生活の目標をもつことができる。

【日常の活動】
〇帰りの会
・「私たちの道徳」利用してＰ３４「あなたの夢や理想を実現するために今、どうすることが大切なのだろう」を事前に書く。

〇係活動・委員会活動
・「学級・学年をさらによくしたい。」という願いをもって、工夫して取り組むことができる。

理科　（６月）
「身のまわりの物質：白い粉末状の物質を区別するには」
・固有の性質をもとに、物質を区別することができる。

道徳の時間（道徳科）（6月末～7月初）
「土と炎の芸術」（加藤　幸兵衛）
内容項目Ａ（５）「真理の探究、創造」
・試行錯誤を重ねつつも妥協することなく、新たな見方や考え方を取り入れながら探究し続けることが自らの生きがいにつながることに気付き、願いの実現に向け、生活の中で工夫して新しいものを生み出そうとする態度を育てる。

学級活動（７月）
「夏休みの計画を立てよう」
・夏休みに取り組む研究のテーマと内容を明らかにし、計画することができる。

〇家庭学習
・毎日こつこつと学習に取り組むことができる。

＜生徒の意識＞

・中学生になったので自分の夢に向かって前進していきたいな。
・新しいことを学ぶようになって、中学校の勉強は難しいけど楽しいな。

・物質の性質で区別する方法は一つではなく、いくつもの方法から調べると、白い粉末状の物質を正しく区別することができるな。
・本当にグラニュー糖なのか疑問をもち続けて調べることが大切だな。

・とことん探究し続けていくことをあきらめてしまう。
・自分の願いに向けて妥協せず、こだわりをもって探究し続けることは大切なことなんだな。

・いよいよ夏休みだ。夏休みの研究について計画的に取り組んでいこう。
・分からないことや出てきた疑問を妥協せずとことん探究するよ。

＜指導・援助＞

・夢や希望をもって中学校生活をスタートさせようとしているよさを価値付ける。
・自分の願いを達成するために、よりよい方法を求め続けていくことを助言する。

・学習プリントを作成し、本時身に付いた力を見届け、指導・援助に役立てる。
・授業で得た知識を生活の中に広げ、探究しようとしている意欲を価値付ける。

・誰にでも途中であきらめたくなる弱さはあるが、そんな自分を見つめ直し、目標に向かって努力し続けることで、最後までやり抜こうとする意識につなげる。

・インターネットのみに頼らず、実際に見たり聞いたりしたことをもとに、自分の考えを明らかにしながら取り組むように助言する。